

騒音地域における地域振興策の取組について

令和7年度の取組及び令和8年度以降の取組について



【R7実施】久住地域スポーツ施設等整備基本計画について（概要版）



計画策定の背景と目的

市では、成田空港の更なる機能強化が進む中、地域と空港の共生の実現に向けて、空港のプラスの効果が騒音地域に及ぶよう、R6年度に騒音地域全体及び地域別の具体的な振興策（地域振興メニュー）を策定した。

久住地域においては、スポーツ施設や宿泊施設、現在整備中の余熱利用施設などが近接する立地環境を活かしたスポーツの拠点として、市内外からの来訪を促進する施設を整備することを地域振興メニューとしており、R7年度に、この施設整備に関する基本計画を策定した。

整備計画地（成田市小泉地先）



成田市の関連計画



「次世代に誇れるまちづくり」に向け、「若者や子育て世代に魅力のあるまちづくり」「医療・福祉の充実したまちづくり」「空港と共に発展するまちづくり」の3つの方向性を掲げている。

「未来にむけてスポーツを通じて市民の健康づくりと地域づくりを進める」こととしている。

スポーツ施設・観光資源を最大限に生かし、スポーツを起点とした交流人口の拡大と地域活性化を実現することを目的としている。

社会動向

スポーツ
レクリエーション

- ウェルビーイング(個人の幸福感や生活の質を高める)への意識の高まり
- インクルージョン(共生)・アクセシビリティ(誰もが参加できる環境)を重要視
- 地域づくり(地方創生)“あつまり・つながり”を再評価

公園・広場等

- 公園や広場の整備における重要な視点
「健康づくり機能」「滞在・イベント・学びが生まれる機能」
「多様な活動需要」「快適性・滞在性」

久住地域スポーツ施設に求められる役割・効果

地域の
魅力づくり

地域アイデンティティ、プライド醸成⇒スポーツの聖地化、有名なチーム生活の質の向上⇒心地良い公園（健康づくりと共通）
地域コミュニティの充実⇒住民の交流の活性化（地域づくりと共通）
地域の未来への期待⇒上記の姿への期待感

市民の
健康づくり

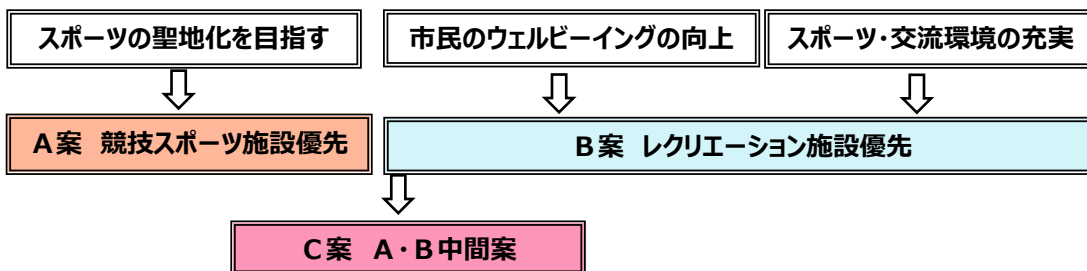
健康的な生活環境の整備⇒公園、緑地等の整備、運動環境の充実
運動・スポーツ実施率の向上⇒運動環境の充実、多様な参加の場

地域づくり

住民交流の充実⇒スポーツやレクを通じた交流機会

久住地域スポーツ施設の整備の方向性・整備案

- ①大会開催や合宿誘致が可能な施設を整備し、スポーツの聖地化を目指す。
- ②居心地の良いオープンスペースを整備し、市民のくらしの質の向上・ウェルビーイングの実現に寄与する。
- ③多くの市民が楽しめるスポーツ環境を整備し、スポーツ・交流環境の充実を図る。



	A案 競技スポーツ施設優先	B案 レクリエーション施設優先	C案 A案とB案の中間案
施設配置 イメージ			
主な 整備内容	・野球場 1面 ・多目的球技場 一般 1面、少年 1面 ・大型遊具 1基 ・芝生広場 ・クラブハウス（屋上展望台）・卓球台 2台 ・駐車場（約200台）	・野球場 1面 ・スケートボードパーク+パンプトラック ・3on3 2面 ・ピクセルボールコート 2面 ・アスレチック遊具 8基 ・大型遊具 1基・卓球台 2台 ・ボルダリング・芝生広場 ・クラブハウス（屋上展望台） ・駐車場（約200台）	・野球場 1面 ・多目的球技場 一般 1面 ・スケートボードパーク+パンプトラック ・3on3 2面 ・ピクセルボールコート 2面・大型遊具 1基・卓球台 2台 ・ボルダリング・芝生広場・クラブハウス（屋上展望台） ・駐車場（約200台）

比較検討			
	A案	B案	C案
スポーツの 聖地化	◎ 市内の野球、サッカー の競技環境が充実	△ 競技系は 野球場のみ	◎ 野球、多目的球技 場が完備
ウェルビー イング	△ 競技種目実施者以 外の市民には喜ばれ ない	◎ 芝生広場や運動・遊 び環境が充実	○ 運動・遊び環境 が充実
スポーツ環 境等充実	○ 競技スポーツ中心で 新たなスポーツニーズ は満たせない	○ 新たなスポーツ環境 が充実	◎ 競技系スポーツも新 たなスポーツ環境も 充実
総合評価	○	○	◎

整備スケジュール（想定）												
項目	年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12					
基本計画		■										
基本設計			■	■	■							
実施設計				■	■	■	■	■				
測量・地盤調査			■	■								
許認可申請・手続				■	■	■	■	■				
埋蔵文化財協議・調査			■	■	■	■	■	■	■			
施工					■	■	■	■	■	■	■	■
供用											■	■

【R7実施】サイクリングコースの設定

背景と目的

成田市が有するポテンシャルや本市周辺に複数のサイクリングコースが設定されている状況などを踏まえ、騒音地域に所在する懐かしい里山の風景や歴史的資源、観光施設やスポーツ施設などの地域資源と自転車を活用して、市内外からの来訪を促進し、地域の活性化を目指すことを目的にサイクリングコースの設定を騒音地域全体の地域振興メニューの一つとした。

R7年度に、この地域振興メニューとして、騒音地域内を回遊するサイクリングコースや空港、市街地等から騒音地域を繋ぐサイクリングコースを設定した。

ポイント

地域活性化に繋がるサイクリングコースには3つのポイントが重要

1

住民が大切にしている成田市の魅力が詰まっている

2

サイクリストに魅力が伝わり、実際に走って体験してもらえる

3

実際にサイクリストが訪れることで地域にメリットが生まれる

需要調査

①サイクリングユーザー需要調査（アンケート調査）

【成田市民】【サイクリスト】【インバウンド客】を対象にアンケート調査

➡アンケート結果を分析し、最も成田市の環境に適性のあるターゲットを選び、ニーズに合ったコースコンセプトを定める

②フィールド調査（地域資源調査）

【成田市内のサイクリング適正スポット】【素案コースの危険個所の確認】をプロサイクリングガイドが実走して調査

➡成田市のフィールド（スポット・道路）の個別具体的な適性を測る。
あわせてサイクリングには危険な場所を特定。

調査結果を基にターゲット等を選定

市民

➡健康サイクリスト層向け

サイクリスト

➡走りやすさを求める本格層向け

インバウンド

➡文化・自然満喫層向け

コースコンセプトを定め、市民向け2コース、サイクリスト向け2コース、インバウンド向け1コースの暫定コース案を作成

暫定コース（全5コース）のモニターツアー実施

🚲 実施日：令和8年1月10日～12日 🚲 参加人数：合計32名
🚲 参加者：市民・サイクリスト・外国人（タイ・中国・台湾・アメリカ・オーストラリア・フィリピン）



コース設定・マップ作成

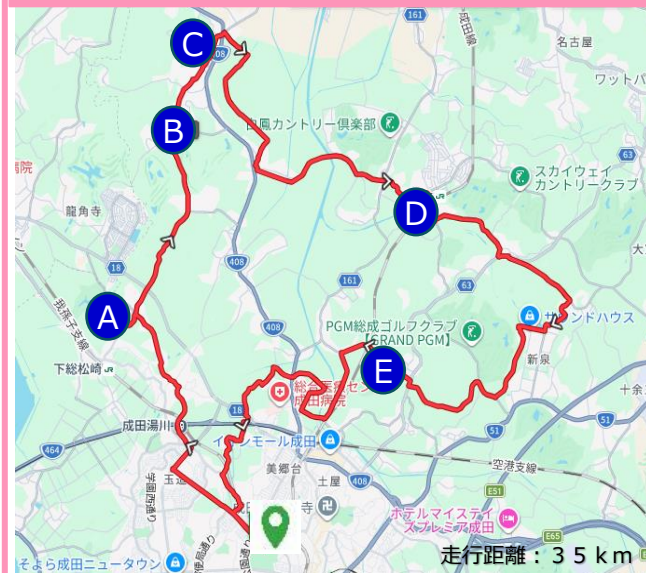
- 騒音地域住民の意見やモニターツアーの結果等を踏まえ、サイクリングコースを設定（次頁参照）
- サイクリングマップ（紙媒体）の作成及びスマートフォンアプリ等へのコース展開



【R7実施】サイクリングコースの設定（各コース）



コース① 市民向け（成田市街から利根川方面）



コース② 市民向け（空港周辺）



コース③ サイクリスト向け（印旛沼～空港周辺）



コース⑤ インバウンド向け（空港～成田山方面）



コース④ サイクリスト向け（利根川～空港周辺）



令和8年度以降の取組について

R8 久住地域におけるスポーツ施設等整備基本設計の実施

令和7年度に策定した基本計画に基づき基本設計を実施する。



R8 サイクルツーリズムプロモーション事業の実施

令和7年度に設定したサイクリングコースのプロモーション事業を実施する。

【概要】

- ・インフルエンサーをPRアンバサダーとして認定
- ・募集したサイクリストとインフルエンサーと一緒にコースを走行するイベントを実施



- ・イベントの様子をインフルエンサーによりSNS等で発信
- ・その他、商業施設等へのコースマップの配架、市HP、市SNSでのコースPR等を実施

R8～ コミュニティ事業補助金の補助率等のかさ上げ

- ・令和5・6年度に実施した環境整備調査により策定した地域振興メニューにおいて、騒音地域全体の地域振興メニューとして「地域コミュニティ機能の充実」を策定し、「コミュニティ事業補助金を活用するモデルケース等を検討する」こととしていた。
- ・令和8年度から、コミュニティ事業補助金のうち、設備・備品整備事業について、騒音地域においては補助率・上限額を引き上げる。

	変更前（R7まで）	変更後（R8から）
補助率	1/2	3/4
上限額	5年毎に上限200万円	5年毎に上限300万円

騒音地域の自治会等の自己負担が50%から25%に！
仮に200万円の設備・備品を整備した場合、自己負担額が
これまでより50万円減少！